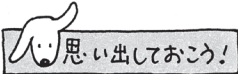


(4) 副詞的用法・絶対的用法

CD
Track 24



「um + zu 不定詞」の形で、「～するために」という目的を表すことができます。英語の「(in order) to + 原形」に相当する表現で、**副詞句**を作ります（ほかに、ohne や statt などを使った表現もあります）。

um Deutsch zu sprechen ドイツ語を話すために

基本パターン①：「um + zu 不定詞」で目的を表す

Ich koche selber, **um** Geld **zu** sparen.

私はお金を節約するために自炊している。

「zu 不定詞句」の前に「um」をつけるだけで、「～するために」という副詞句ができます。「um」は「～のまわりに」などの意味を持つ前置詞で、ここでは「～を求めて」の意味で使われています。ただし、次に4格が続くという前置詞としての機能はなく、単純に「zu 不定詞句」にドッキングしているだけです。

um + Geld zu sparen = um Geld zu sparen
お金を節約すること お金を節約するために

基本パターン②：「ohne + zu 不定詞」の場合

Ich koche selber, **ohne** in einem Kochbuch nachzuschlagen.

私は料理の本で調べずに自炊している。

「ohne」は「～なしに」という意味の前置詞で、英語の「without」に相当します。これもやはり、「zu 不定詞」に直接つなげることができ、「～しないで」という副詞句を作ります。

ohne + in einem Kochbuch nachzuschlagen
料理の本で調べること

= ohne in einem Kochbuch nachzuschlagen
料理の本で調べることなしに

*英語では「without」のあとに「to 不定詞」を続けることができず、「without looking up in a cookbook」などのように、**動名詞**になります。

⊕ 基本パターン③ : 「statt + zu 不定詞」の場合

Ich koche selber, **statt** in einem Restaurant **zu** essen.
私はレストランで食べる代わりに自炊している。

「statt」は「～の代わりに」という意味の前置詞で、英語の「in stead of」に相当します。「um」や「ohne」と同じように「zu 不定詞」につなげることができ、「～する代わりに」「～ではなくて」という意味の副詞句となります（「anstatt」を使っても、同じ意味になります）。

statt + in einem Restaurant zu essen
レストランで食べること
= statt in einem Restaurant zu essen
レストランで食べる代わりに

*英語ではやはり、「in stead of」のあとは**動名詞**になります。
in stead of eating in a restaurant



🍄 応用パターン① : 「um + zu 不定詞」で結果を表す

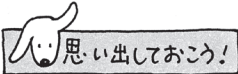
Ich habe den Tisch gedeckt, **um** gleich wieder alles wegzuräumen.

私は食卓の用意をしたが、すぐにまた全部片付けることとなった。

「um + zu 不定詞」は目的だけでなく、「(～したが) ～という結果になった」という意味を表すこともあります（英語の「to 不定詞」にも、「結果」を表す用法がありますね）。目的を表す場合と見た目が変わらないので、文脈で判断することになります。

(2) 修飾語として

CD
Track 50



形容詞は、**名詞の修飾語**として使うこともできます。その場合、形容詞は必ず**名詞の前に置かれ、形容詞に語尾がつきます**。つまり、辞書に載っている形ではそのまま使えない、ということになります。

* 文法用語では「**付加語的用法**」といいます（英語の「**限定用法**」にあたります）。

* 語尾のつけかたは、次の課を参照してください（→ p.263以降）。

⊕ 基本パターン①：不定冠詞—男性1格の場合

Es war ein **heller** Abend. 明るい晩だった。

「hell」が形容詞で、直後の名詞「Abend」を修飾しています。形容詞をよく見ると、「hell」という語のはずなのに、「-er」となっていますね。これが、**名詞を修飾**するときの**形容詞の語尾**です。英語のように、ただ形容詞を名詞の直前に置くだけでは不十分で、必ずクッションとなる語尾が必要となるのです。

× ein hell Abend → ○ ein **heller** Abend

* どんな語尾がつくかは、①冠詞の有無と種類、②名詞の性と格、によって決まっています。詳しくは、次の課を参照してください（例文の語尾「-er」は、①不定詞「ein」を使い、②名詞「Abend」が**男性1格**の場合の語尾です）。

⊕ 基本パターン②：不定冠詞—男性4格の場合

Wir **hatten** einen **hellen** Abend. 明るい晩だった。

今度は同じ「hell」という形容詞に、「-en」という語尾がついていますね。これは名詞「Abend」が**4格**になったため、①不定詞を使い、②名詞が**男性4格**の場合、の語尾になっているのです。

基本パターン③：定冠詞—男性1格の場合

Der **helle** Abend war schön. その明るい晩はすてきだった。

冠詞が**定冠詞**になると、同じ**男性1格**でも形容詞の語尾が違ってきます。例文では「hell」という形容詞に、「-e」という語尾がついていますね。

基本パターン④：定冠詞—男性4格の場合

Wir freuten uns über den hellen Abend.

明るい晩になって、私たちはうれしかった。

同じ**定冠詞**の場合でも、男性1格と**男性4格**の語尾は違うものになります。例文では「hell」という形容詞に、「-en」という語尾がついていて、これは【基本パターン②】の場合と同じですね。



応用パターン①：形容詞を並列する場合

Es war ein schöner, heller Abend. すてきな明るい晩だった。

2つ以上の形容詞が並列して同時に名詞を修飾する場合、**すべての形容詞に同じ語尾**がつきます。例文では「schön」と「hell」という2つの形容詞が並列して「Abend」を修飾しているのので、どちらも**男性1格**の「-er」という語尾がついているのです。

*2つ以上の形容詞を並列させる場合、**間をコンマで区切る**のが一般的です（→ [ワンポイント・レッスン②] も参照してください）。

応用パターン②：名詞を省略する場合

Es war ein heller, aber kein warmer Abend.

明るい晩だったが、暖かい晩ではなかった。

修飾される名詞を省略することもできます。この場合もやはり、**形容詞に語尾**がつきます。つまり、まるで名詞が残っているかのような形で、形容詞が変化するのです。例文では「ein heller [Abend]」となるはずなので、形容詞の「hell」に「-er」という**男性1格**の語尾がついている、